

第1章

職業観の形成とキャリアアップ

【指導時間】

	指導時間
1 働く女性を取り巻く環境の変化	20分
2 女性と能力主義時代	15分
3 ライフプランとキャリアプランの確立	10分
4 ヒューマンスキルとコミュニケーション	30分
5 第1章のまとめ	5分

【指導のねらい】

女性社員が能力を発揮しキャリアを形成するためには、社会環境の変化を的確に捉え、企業が求める能力に合わせて自己啓発を行うと同時に、職業意識の再形成を図っていかなければならないことを理解させる。

1 働く女性を取り巻く環境の変化

【指導のポイント】

- ・社会環境の変化による性のボーダーレス化や性別役割分業意識の変化は、キャリアを伸ばしたい女性には大きなチャンスとなることを理解させる。
- ・仕事に対する考え方を確認し、ライフプランと連動した職業観について考えさせる。

【進め方】（指導時間：20分）

（1）性のボーダーレス時代の到来

① 働く女性を取り巻く環境について、以下の点を説明する。（7分）

・社会の動き

少子・高齢社会の到来は、労働力不足を招き、女性の活用が不可欠となる。

・法的な動き

国際的には、ILO156号条約の批准により、男女の家庭責任の共有が求められている。

国内的には、育児・介護休業法制定や男女雇用機会均等法の改正案により、男女がともに仕事をする体制が整備されつつある。

② 上記のような社会環境の変化が、性のボーダーレス化を招いていることを説明する。

（5分）

・女性、男性ではなく個人を活用する性のボーダーレス化が進んでいる。

・意欲と能力のある女性にとっては、実力を発揮するチャンスであると同時に、職業意識の低い女性には厳しい時代となる。

（2）女性の職業意識と性役割

① 女性が活用される時代にあって、女性の職業意識も変化し、就業継続の意欲は高まりつつあることを、図1. 2を使用して説明する。（5分）

・図1 子育て期に仕事を辞める女性が多いが、子育て後の再就職は困難である点をしっかり説明する。

・図2 女性は、「家事優先」よりも「仕事と家庭を両立」が多く、職業継続の意欲は高くなっている。

② 以上の点を説明し、自分自身の仕事とライフプランの関係について考えさせる。

（3分）

・ここでは、発表させずに、第1章第3節（ライフプランとキャリアプランの確立）で発表の場を持つことを伝えておく。

2 女性と能力主義時代

【指導のポイント】

能力主義時代においては、女性にも自己啓発意欲やチャレンジ精神など、より高い職業能力が求められることを理解させる。

【進め方】（指導時間：15分）

- ① 企業の人事評価が能力主義に移行し、より厳しくなっていることを説明する。（5分）
- ② 企業が女性に求める能力が、変化していることを説明する。（10分）
 - ・ 補助労働専門の女性は削減される。
 - ・ 営業職や技術職など、女性の職域拡大が進んでいる。
 - ・ 女性に求められる能力が増大しているため、自己啓発などの努力が必要となる。

3 ライフプランとキャリアプランの確立

【指導のポイント】

自分のライフプランを発表させ、「仕事」をライフプランに位置づける重要性を理解させる。

【進め方】（指導時間：10分）

- ① 結婚・出産も含めた生涯のライフプランをどう考えているのか2～3人に指名して聞く。（5分）
- ② そのライフプランにキャリアプランが入っているかどうかをみて、仕事をどう位置づけているのか問い直していく。（3分）
- ③ ライフプランにキャリアプランを組み込んで考えることを説明する。（2分）
ここでは、時間の都合上、連動させることが重要であると説明するにとどめる。

4 ヒューマンスキルとコミュニケーション

【指導のポイント】

- ・ ヒューマンスキルは、コミュニケーション能力であり、自己主張することがその第一歩であることを理解させる。
- ・ さまざまな場面でどう対応すればよいのか、ワークを使って具体的に自分の行動を考えさせ、次につながるような対応を学ばせる。

【進め方】（指導時間：30分）

- ① まず、ヒューマンスキルは、仕事の基本であることを説明する。（5分）
 - ・議論や討論、問題提起、問題解決には、自己を積極的に主張するといったヒューマンスキルが重要となる。

ワーク1の進め方（25分）

- ① ワーク1を使って、自己のヒューマンスキルの現状と問題点を把握させる。（20分）
 - ・チェック項目を説明し、「YES」に○をさせる。
 - ・5個以下の人を挙手でチェックし、感想を聞く。（○の合計が少ないほど自己主張が弱いといえる。）
 - ・NOが多い項目についてどのように対処したらいいか、挙手で回答させる。
 - ・積極的な自己主張を身につけさせるためには、本来言葉で理解させるよりロールプレイなどが効果的であるが、ここでは、活発な意見が出てくるよう雰囲気を用意する。
- ② キャリアを高めるためには、自分の意見を持つ、主張するなどの積極的自己主張が重要であることを説明する。（5分）

5 第1章のまとめ（指導時間5分）

ここでは、職業観の形成とキャリアアップについて学んだ。これらをまとめると、次のようになる。

1 働く女性を取り巻く環境の変化

- ・さまざまな社会環境の変化は、女性が生涯働き続ける社会の到来を意味している。
- ・女性社員の職域拡大や能力活用が進み、補助的労働は減少していく。
- ・性別役割分業意識を払拭し、就社意識から就職意識へと職業観を再形成することが必要不可欠となる。

2 ライフプランとキャリアプランの確立

- ・自己啓発意欲のある女性が伸びていく。
- ・ライフプランの確立を図り、合わせて自己のキャリアプランを形成することが重要となる。

3 ヒューマンスキルとコミュニケーション

- ・自分の意見を持つ、主張する、議論する力を獲得することが仕事の意欲を高め、問題発見の力を身につける基本となる。
- ・怒りや否定的な感情をコントロールし、人間関係の基本となる行動様式を身につけることが重要である。